

いかわ

IKAWA TOWNS.COM

No.590

平成18年1月1日発行

特集 - あなたにとって“住みよさ”とは？ -
いかわこの一年 2005年、町の主な出来事

迎春

「1世紀の地域の歩みを見つめた目」

12月14日、さくら苑では「佐藤カツさんの100歳を祝う会」が行なわれ、県と町から記念品を贈り長寿を祝いました。

佐藤カツさんは明治38年12月11日、赤沢町内（八田大倉字南台地内）生まれ。家業の農業を営み、8人の子供を育てました。「さくら苑では家族からプレゼントされたクレヨンで、画を楽しんでいる」と長男の吉五郎さん。

さて、101回目に迎える新年の井川町は、佐藤さんの目にどう映るのでしょうか。

主な内容

- ・特集 “あなたにとって住みよさとは？”... P 2 ~ 5
- ・いかわこの一年..... P 6 ~ 7
- ・12月定例町議会 P 8 ~ 9
- ・公民館だより・花いかだ ほか..... P11
- ・まちの話題..... P12 ~ 13
- ・くらしの情報、見てみて、みんなの広場
P14 ~ 20

謹賀新年

「年頭にあたって」

井川町長 齋藤 正寧

明けましておめでとございます。私たちは多くの課題を抱えながら新年を迎えました。町民の皆様には良い一年になりますように、そして確かな展望を拓くため町も町民も課題克服に向け、果敢に挑戦する年でありたいと存じます。

町は昨年、行財政改革を徹底し、住民サービスを向上するため自立計画を策定しました。議会や町民の皆様からも議論に参加をいただきました。町長や議会議員の報酬、管理職手当のカット、窓口業務の延長など、すでに昨年中に実施したものもあります。新年度には役場組織を統合し、8課1室から4課1室に再編、同時に係制を廃し、グループ制を採用します。こうしたことにより、担当者が不在で申請や相談が出来なかったなどの不便を解消できるものと思います。退職者の不補充で職員総数も30人余りを削減します。業務の見直しを行ない、可能な

ものは民間委託等もいたします。これらは行政でなければ出来ないことは行政、町民が出来ることは町民という役割分担を確立することが前提です。ですから町民と協働のまちづくりを自立計画の柱に据えております。

町や秋田大学が行なったアンケート調査の結果では、まちづくりに町民が主体となることが重要だと考えている町民は80%もいますが、自ら参加する意思のある町民は50%余りです。これでは行政に任せておけばよい、あれもこれもして欲しいが町は何もしてくれない、と不満たらたらになるのが必定でしょう。町職員がまちづくりのリーダーとして第一線に立ち、町民に徹底奉仕する気概を持つ意識改革が必要だと同じく、町民もまた意識を改革することが必要なのだと思います。

町の基幹的産業である農業も激動の時代に様変わりです。農業者として一定の面積を確保し、担い手たる認定農業者、集落営農の参加者以外は国の支援策を受けられなくなります。この対応に今年は全力を傾注します。

これまでは県都・秋田市に近いこと、公共事業もあり、不安定ながらも兼業機会に恵まれていました。しかし、公共事業の削減、景気回復の波及効果も見られず、地域経済は低迷し、雇用の回復も当分、期待は出来ない見込みです。しかし、これら乗り越えなければ将来展望は拓けません。

町では昨年、町内企業者と東京・板橋区の企業との異業種交流を立ち上げました。小企業でも立地し、雇用の場が開拓できることを最終的なねらいとしています。また、新年早々には有機農産物の販売業を首都圏で展開するマザーズ・グループの責任者を招き、交流の場をつくります。大きな資本を投下することではなく、差別化した産物をつくりだすことで農業振興にはずみをつけようという試みです。小さなことでも積み上げ、可能性へ挑戦してほしいと思います。

ほかにも子育て支援や教育の振興など課題は山積しています。財政再建という大きな潮流の中で、こうした課題を乗り越えるため、皆で努力する一年であることを祈念します。

「住みよさ」とは何か

ここ井川町で、共に生活を営む約6,000人の仲間たち。この地に暮す誇りや地域への愛着、一人ひとりの「思い」もそれぞれに違うことでしょう。

町では「美しいまち 楽しいまち 健康なまち」を基本理念に掲げた第三次井川町総合振興計画を基に、まちづくりを進めてきたところです。「美しいまち」とは、地域共有の資源である美しい自然環境の保全や、恵まれた環境の中で感性を磨き美しい心を育むこと、「楽しいまち」とは、住民相互に個性を尊重し合いながら、人と人とのつながりが地域の魅力や活力を高めていくこと、「健康なまち」とはすべての住民が心身ともに健康で生きがいを育める環境づくりをめざすものです。

住みよさを評価、住民意識調査結果を報告します

ここでは、広報12月号で紹介した「地域づくりフォーラムinいかわ」の開催にあたり実施した、秋田大学工学資源学部土木環境工学科福祉環境工学講座 木村一裕教授による「成熟した活力ある地域社会に関する住民意識調査」の集計結果を参考に、「住みよい地域」とは何かを探ってみましょう。

特集

あなたにとって、 「住みよさ」とは—

「成熟した活力ある地域社会に関する住民意識調査」結果に探る

この住民意識調査は高齢化や少子化などの地域の課題が山積する厳しい社会情勢において、個々人の生活が多様化し、より複雑化、広域化していく中で、住民生活の満足度を調査して、「成熟した活力ある地域社会のあり方」を考える基礎資料とすることを目的として、11月上旬に実施されたものです。

調査は生活環境基盤整備の満足度や住民相互の交流、住民主体のまちづくり、住み心地などを問うアンケート

シートで492件の回答が寄せられました（回答率41%）。

地域のにぎわい、雇用状況に不満

表1は、生活環境全般についての住民の満足度を表したものです。

「健診等の受けやすさ」「買物のしやすさ」は高く評価されている一方で、「雇用の状況」や「まちのにぎわい」については評価が低く、課題を残す結果となりました。

「成熟した活力ある地域社会」に関する住民意識調査」の概要

調査機関	秋田大学工学資源学部 土木環境工学科
対象	無作為に抽出された15歳以上の井川町民1,200人
回答数	492件
回答率	41.0%
回答内訳	男性54名 / 女性46名

表1 生活環境についての住民の満足度

	0%	25%	50%	75%	100%
公園や緑地、街路樹など緑の豊かさは	133	169	146	124	119
道路の整備状況は	129	133	158	43	119
健康診断や予防接種などの受けやすさは	87	152	185	37	111
買物のしやすさは	81	158	175	47	124
まちなみなどの景観は	60	116	244	46	114
町政情報の得やすさは	39	98	255	38	116
ごみの収集・処理やリサイクルへの取り組みは	55	117	219	58	120
街灯の整備状況は	51	101	186	94	45
バス、電車などの利用しやすさは	44	120	160	78	74
冬期の除雪については	36	88	205	80	78
高齢者・障がい者の生活のしやすさは	171	79	232	77	123
運動会や祭りなどによる地域住民との交流	37	85	264	73	117
大雨、地震など自然災害への安全性は	32	76	252	54	28
子供の育てやすさは	28	70	273	51	28
スポーツ活動のしやすさは	221	72	280	68	120
文化・芸術活動のしやすさは	181	51	294	64	119
女性の社会参加のしやすさは	139	52	272	55	118
環境保全への取り組みは	271	62	283	44	119
町内会など自治活動の状況は	32	73	299	40	112
防犯への取り組みは	11	52	275	70	39
各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは	151	55	268	73	120
町民の町政参加のしやすさは	139	38	267	85	33
ボランティア活動など市民活動のしやすさは	22	229	104	32	
レジャーなどレクリエーションのしやすさは	8	34	227	128	60
病院などの医療機関の利用しやすさは	191	63	220	110	60
観光地としての魅力は	11	54	161	154	95
まちのにぎわいは	221	197	162	88	
雇用の状況は	81	114	167	157	

□よい □ふつう □悪い □どちらかといえばよい □どちらかといえば悪い

住民参加と交流、 あなたの地域ではどうですか？

これからのまちづくりのキーワードは「住民主体のまちづくり」。その基礎となるのは、やはり、地域住民相互の親しみではないでしょうか。

「以前と比べて近所付き合いが減った」と言う声が聞かれてから久しくなります。アンケート調査では「地域の住民同士の交流(表2)」について、「日常的な近所つきあい」は9割以上の住民が「よくある」もしくは「ふつう」とする一方で、「昔と比べた交流の頻度(表3)」については大多数の方が「以前と変わらない」と回答する中、全体を平均して約3割の方が減少したと回答しています。

表2 地域の住民同士の交流

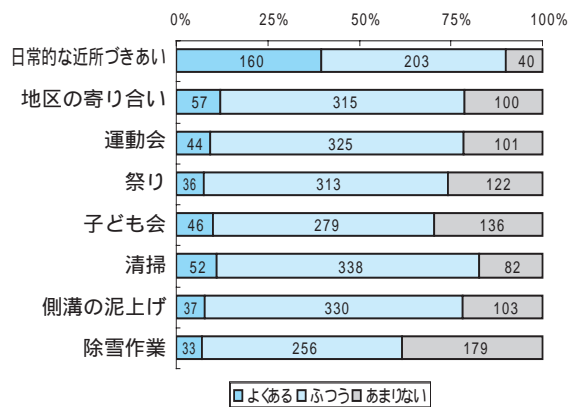
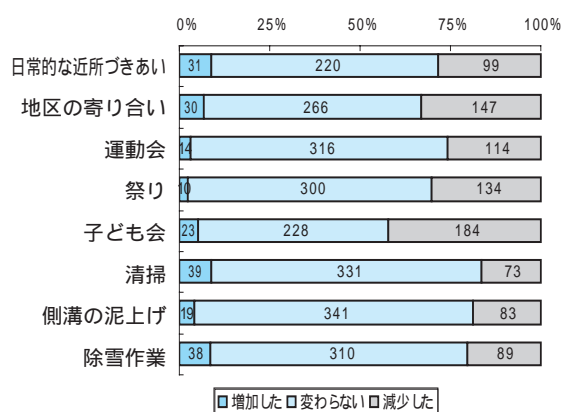


表3 昔と比べた交流の頻度



「住民主体のまちづくり」の必要性(表6)は、「重要」とする回答が約8割と意識が高いことが示されたものの、「自らの参加の意向(表7)」を問う質問に対しては、「参加する」との回答が6割程にとどまる結果となりました。

「住みよいとは何か」。住民個々の生活や価値観が以前と比べて多様化・複雑化してきている社会の中で「住みやすさ」については7割を超える方が「住みやすい」と回答しています。この地に共に住む一人ひとりが手をとり、支えあって安全で安心して暮らせる地域社会をめざす姿に「住みよい地域」の答えがのびてくると見えてくるのではないのでしょうか。

表5 井川町の住みやすさ

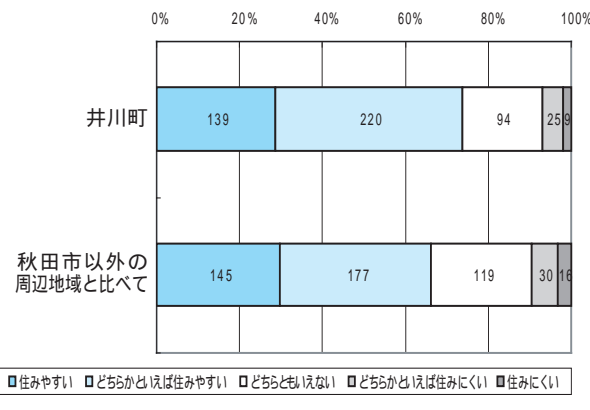


表4 これから必要と考える取り組み (回答492人・項目から3つを選択)

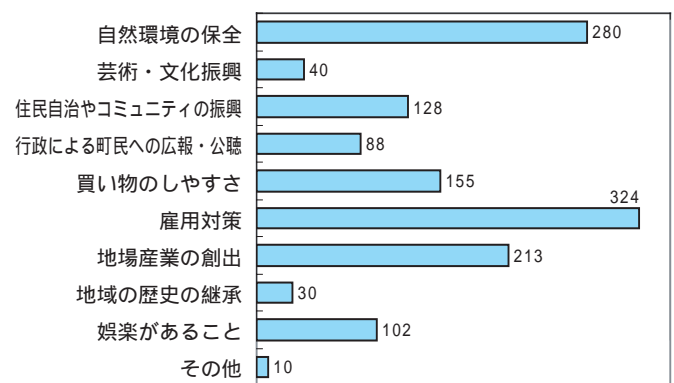


表7 住民主体のまちづくりへの参加の意向

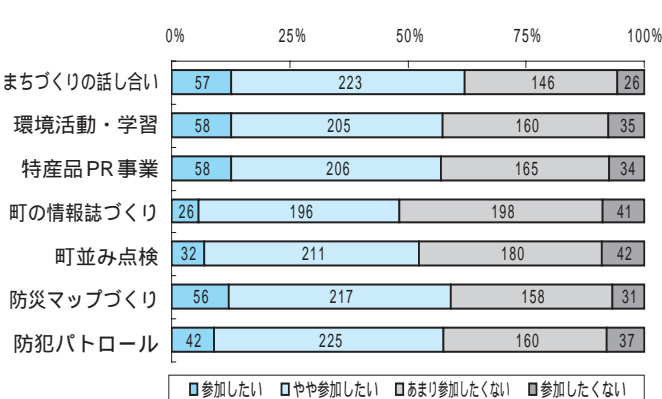
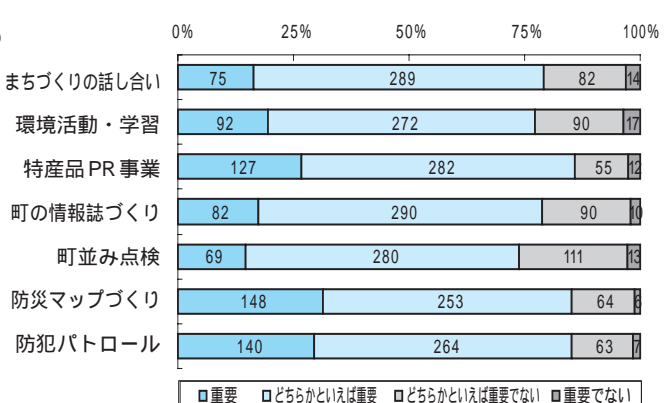


表6 住民主体のまちづくりの必要性



大台町内会長 小林 次徳さん

「先日、テレビニュースで、限界集落」という言葉を知りました。65歳以上の高齢者が集落人口の半数を超え、地域活動が困難になる状態だと言います。ここ大台町内もそう遠くないうちにそのようなことが起こるのか、と考えさせられる言葉でした。先祖代々200年以上も守ってきたこの集落を自分たちの代で消すことがあつてはならないと皆が同じように考えています。確かに人口を見れば人数は減少しましたが、戸数自体はそう減ってはいません。地域活動を考えるとき、集落の単位が小さければ小さいほど一人ひとりの役割が大きくなりますが、住民同士のつながりや信頼も強くなっていきます。集落が自信を持てば、町は必ずと良くなります。地域に、そしてそこに住む人間に自信と誇りを持って付き合っていくことが住みよい地域につながっていくのでしょうか。」



こどもセンター父母の会
会長 小武海 文恵さん(羽立)

「今は4歳と1歳10カ月の2人の娘の子育て中心の毎日。おばあちゃんがいって本当に助かっています。町のことや町にどういう子育て支援があるのかを教わりながら、健康センターで行なわれているわいわい広場、保健士さんへの健康相談などにも機会を見つけては参加しています。」

嫁いだ小武海家はもともと集落にあつた家。町内には町営住宅があつて新しく地域に入ってくる家庭もあります。若い世代の家庭も多く、子どもを通してママ友達の交流が生まれるようになりました。

今は子どもを取り巻く危険性は都市も地方も変わりないように感じます。子ども一人で公園に遊ばせておけない社会はとても悲しいことです。親同士も一緒に遊べる場があれば良いなと思います。安全に安心して子どもたちが遊びまわれる環境が住みよい地域だと思っています。」



“健康づくりの会”で運動に汗する
伊藤 奈津子さん(街道)



「元々体を動かすことが好きでした。ただ、バレーボールなどある程度人数が集まらないと出来ないスポーツもあるので、競技スポーツとしてはではなく、この会のように体を動かすことを楽しむ集まりがあることが嬉しかったです。時間の都合がつかなくなったりと継続することが難しいところではありますが、この会は自分の都合に合わせて参加できるので、無理せず続けられます。」

また、誰でも気軽に運動できる環境があることで、いろいろな年代の人や様々な活動をしている人たちと知り合う機会に恵まれました。運動を通して得た、人との“つながり”、



その“つながり”は互いの生活をより楽しく豊かなものにしていくものだと感じています。」

“施田歩こう会”のみなさん

「健康づくりウオーキングは夕刻の30分毎日続いています。毎日欠かすことなく活動が続いていることには場所に恵まれていることもありませう。ここコミュニティセンターには放課後、幼稚園児から小学生までが遊びに来てくれて、良いふれあいの場となります。また、時には仲間とカラオケや温泉に繰り出すことも…。おいしいものを食べて、温泉で温まり、カラオケでは笑い声が絶えませぬ。また、平日仕事のある人も日曜や休日には顔を出してくれては、共に歩きます。」

施田地区は40数世帯中12戸が一人暮らし。1人で家にこもると会話の無い生活になってしまいがちです。そうした時に仲間たちとの集まりがあることで、生きることが楽しいと実感できます。健康と笑顔、そして若い気持ちで毎日を過ごせることが住みよさということですね。いではないでしょうか。」



いかわこの一年

町村合併の協議を経て、「単独立町」の道を選択した井川町。また町発足50周年の節目を迎えた、この2005年。町内でもさまざまな出来事がありました。「美しいまち 楽しいまち 健康なまち」への、新たな一歩を踏み出した井川町の一年間の主な動きを振り返っていきましょう。

1月

地域の安全、決意を新に / 井川町消防団出初め式
男女共同参画社会の実現をめざして語り合う
/ きらめき女性のつどい
自立計画策定に向けて、役場職員によるプロジェクトチームを立ち上げ。

2月

人生の節目に90人が集う / 合同厄払い・還暦祭
井川町スポーツ賞、平成16年度に各競技大会で活躍した5団体・17個人が選ばれる。
赤沢山スキー場で「わんぱく雪まつり」開催。

3月

第6回桜の森彫刻コンクール作品公募を開始。
町議会議員定数を現行16人から12人に削減。
次回改選時から施行へ。 / 3月定例町議会
井川小・中学校卒業式、井川小62人・井川中56人が学び舎をあとに。

4月

役場戸籍窓口、週2日午後7時まで時間を延長。
井川小・中学校2学期制がスタート。
6月1日刊行に向け「井川町史続巻」予約受付け始まる。
井川町・五城目町・八郎潟町商工会が合併、湖東3町商工会が新たな船出。
任期満了に伴う秋田県知事選挙、投票率61.99%

5月

日本国花苑を全国に発信、参加者600人が交流を深めた「全国さくらシンポジウム in いかわ」
213人が42.195kmを完歩
/ 第14回はつらつ歩こう会
町民の健康管理「循環器健診」受診率80.6%
井川町選挙管理委員長の渡部聡さん（小泉）が、春の褒章で藍綬褒章を受章。

6月

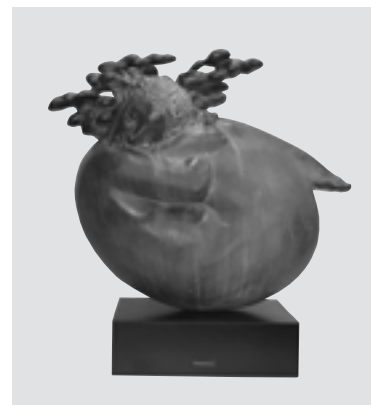
井川町発足50周年・井川さくら駅開業10周年・井川町史続巻発刊記念式典に参加250人の笑顔。
前町議会議員・児玉隆司氏に井川町特別功労章。
特別養護老人ホームさくら苑開設5周年記念式が行なわれる。
町特別職及び町議会議員の給与・報酬月額を引き下げ（7月1日から施行） / 6月定例町議会
第6回桜の森彫刻コンクール応募作品182点を審査。大賞に「緑の風に誘われて（瞑想）」。
「井川町自立計画（素案）」概要を説明、行財政改革に住民の意見を求める。まちづくり懇談会に435人が参加。



桜の専門家とさくら談議に花を咲かせた「全国さくらシンポジウム」



彫刻を審査するまなざしも真剣



大賞作品「緑の風に誘われて（瞑想）」



半世紀の歩みを振り返り、町の未来に夢をはせた「町発足50周年記念式典」



町の元気な笑顔たちが集った「井川町敬老式」



夏の夜を幽玄に演出「全町盆踊り大会」



町産業の活性化方策を探る意見交換を行いました。
東京商工会議所板橋支部会員と交流「井川町企業懇談会」



地域の将来像を描く、キーワードは「自ら考え、行動するまちづくり」

7月

桜の森彫刻コンクール授賞式が行なわれる。町民賞は『瞑想の部屋』に決まる。

全県中学校総合体育大会、井川中相撲部2年連続10度目の全県制覇。

秋田中央広域農道・寺沢地内味噌野交差点に信号機が設置される。

ダンスで交流「レク・踊るフェスティバル 女のまつり」日本国花苑広場で開催。周辺市町村から600人の参加者。

8月

戦後60年、平和への思い新たにノ井川町追悼式
74人が新成人にノ井川町成人式

東北中総体で井中生の活躍光る。井川中相撲部・団体が優勝、柔道女子個人で石山みさとさん（井川中3年）が東北チャンプに。

町内企業等23団体が参画し、井川町企業懇談会が発足、町内産業の活性化方策を探る。会長に工藤定夫さんを選出。

9月

260人余りの元気な笑顔が集う（対象75歳以上826人）町の最高齢者は八幡町内の石井キヨさん103歳ノ井川町敬老式

介護について80人余の女性が語り合う
ノ全町女性のつどい

第44回衆議院議員選挙・投票率71.56%

10月

東京商工会議所・板橋支部会員と意見交流
ノ井川町企業懇談会

273人のランナーがアップルロードを駆ける
ノ第20回井川アップルマラソン

11月

井川町産業祭・町民文化祭を開催。産業功労者・文化功労章を3氏に贈る。

活力ある地域社会をめざして、地域づくりフォーラムinいかわを開催。90人が参加。

井川産きゃのこ汁に町出身者90人が舌鼓。
ノ第17回首都圏ふるさと井川会総会

自ら考え行動するまちづくりへ、110人が参加
ノいかわを拓く町民のつどい

12月

JR井川さくら駅、開業から10年の節目。

赤沢町内出身の佐藤カツさんが100歳の誕生日を迎える。

「行政改革懇談会」第1回目の協議。行政改革大綱及び集中改革プランの策定に動き出す。会長に児玉隆司氏。



行政報告要旨

米の出荷状況等

12月定例議会が12月7日から9日までの会期で開催されました。7日の本会議では町長の行政報告に続き、5議員から一般質問が行なわれたほか、町から上程された、平成17年度補正予算など7議案が、原案どおり可決・同意され、閉会しました。

行政報告の要旨、可決された主な議案についてお知らせします。

12月定例会

議会

平成17年産米の出荷状況について、当初県から配分された生産目標数量はうるち、もち合わせて7万8,178俵。それに対して、農協と農家が出荷契約を結んだ数量は6万5,184俵となっていました。11月末現在の出荷数量は契約数量対比で100.8%の6万5,696俵、また加工用米については今年から農家の手上げ方式になり1,071.5俵の実績となりました。一等米比率は町全体では75.8%であったものの、東部地区においては54%と極めて低い比率となっています。



また、平成18年産水稻の生産目標数量については、先般新聞等の報道にもありましたように県に対して1.1%減の数量となっています。今後町への配分が決まりしだい生産組合長会議を開催し、新年早々には農家へ配分出来るよう作業を進めているところです。

平成19年から始まる「経営所得安定対策」に

については、町では農業委員や生産組合長、認定農業者等に対して説明会を行っています。今後の本町の農業振興に大きな影響を及ぼすことから、各集落での座談会を開催し、農家の意向や集落の考えを整理したうえで、組織化や担い手育成等の施策の充実を図っていく考えです。

一般廃棄物の広域処理について

八郎湖周辺5市町村による広域ごみ処理施設整備については、廃棄物処理方式検討委員会を開催し、可燃ごみ処理量を年間1万7,000トンと想定して、(1)地域住民の理解を得られるようなダイオキシン対策を含む安全性の高い施設であること(2)ごみ質及びごみ質変動への対応性(3)夏季・冬季のごみ量変動に伴う運転の柔軟性(4)建設費及びランニングコスト等の経済性等を重点に、プラントメーカー各社から徴収したアンケートに基づき運転費単価や水の使用量・人件費等を積算し、焼却灰や溶融飛灰・スラグ等の処理に関する検討を行いました。

その結果、連続式は運転終了時の不完全燃焼による黒煙発生等の課題を、現段階では完全に回避することが困難であると判断。また、地域の特性として、夏季と冬季のごみ質及びごみ量の変動が大きいこと、2炉構成による処理が現実的であること、これに基づいて低質ごみに対

する柔軟性や起動停止時の課題、処理によって発生する焼却灰や溶融飛灰・スラグ、費用面等を総合的に評価して「連続運転ストロー式焼却炉」が最も優位と判断し、議会で全員協議会を開催したうえで理解を求めましたが、最終的な合意までに至らなかったため、再度全員協議会を開催し協議することとしています。

また、用地購入については地権者12名のうち11名について仮契約を締結した旨の報告を受けています。

自立計画について

自立計画については、本年の6月定例会に素案を提出して基本的な考え方や今後の財政計画等を説明し、協議を進めるとともに、「まちづくり懇談会」の主要議題として住民説明を行ない、意見や要望を受けたところ。本懇談会終了後、意見や要望をとりまとめ計画に反映させ、9月定例会時に再度協議した内容に基づき、去る9月28日に県へ提出しました。

県では、提出された計画の内容や財政計画・事業計画等について、支援策を含めた検討を加え回答することになっていますが、提出時のヒアリングでは、自立に向けた取り組みや職員の削減目標、組織機構改革について評価を得ているところです。

今後は、自立計画に基づいたまちづくりを推進するため、「行政改革

◇可決された主な案件◇

井川町自立計画に基づく組織機構改革を実施し、町民サービスの向上を図るため、井川町議会委員会条例および井川町特別職報酬等審議会条例の一部を改正するほか、課設置条例（4課1室体制）を制定しました。

（平成18年4月1日から施行）

一般会計から歳入歳出それぞれ2,520万円を減額し、予算総額を28億4,750万円としました。

補正の主な内容は、

老人福祉費並びに身体障害者福祉費	287万2千円
福祉医療費	105万9千円
清掃施設管理費	256万1千円
穀物貯蔵施設建設費補助金	4,939万3千円
小学校管理費	226万2千円
井川町発足50周年記念式典費	148万1千円の減
水田農業対策費	309万8千円の減
地方特定道路整備事業	6,500万円の減
辺地対策事業	1,700万円の減
湖東地区行政一部事務組合負担金	209万8千円の減

井川町介護保険事業特別会計に歳入歳出それぞれ1,340万6千円を追加し、予算総額を4億6,792万1千円としました。補正の内容は施設介護サービス給付費に2,400万円を追加し、居宅介護サービス給付費から1,000万円等を減額するものです。

井川町介護認定事業特別会計から歳入歳出それぞれ285万7千円を減額し、予算総額を3,400万3千円としました。補正の内容は今年度精算を見込み認定審査会費215万円、一般管理費70万7千円等を減額するものです。

任期満了に伴い井川町教育委員会委員に中山英悦氏が再任されました。

男女別の内訳では、男性が5・9パーセント（171人）減の2、721人、女性が3・0パーセント（98人）減の3、126人。また、地域別では東部地区が6・5パーセント（137人）減の1、982人、西部地区が3・2パーセント（132人）減の3、865人です。

なお、世帯数は1・3パーセント（21世帯）増の1、615世帯となっています。

「懇談会」を開催し、行政改革の進め方や個々の施策と事業について協議し、行政改革大綱や集中改革プランの策定を行なっていく考えです。

を行なったと同様の効果を得ており、また、施工状況等の目視による調査では安定している状況下にあるということはすでに報告しているところですが、さらに、安全確認のため、ミクライトのアスベスト含有の有無及び含有量調査と、空気中の浮遊アスベストの有無を確認する環境測定等を実施したところ、含有量では、教室、食堂、玄関ホール等は「石綿なし」でアスベストは含有されておりませんが、一階水飲場は、0・27%のクリソタイル（白石綿）検出」となりましたが、平成16年度に改正された労働安全衛生法の基準値であり

る1%を下回るものでした。

また、空気中の浮遊アスベストの測定結果は、いずれも大気中濃度1リットルにつきアスベスト繊維0・2本未満となり、大気汚染防止法で定める基準値（1リットルにつきアスベスト繊維10本）を下回るもので、いずれの箇所も安全を確認しています。



公共施設の飛散性アスベストの使用状況については、井川小学校の教室、食堂、玄関ホール、水飲場等の天井の一部に石綿の含有が疑われている「ミクライト吹付材」の使用が確認されていましたが、平成2年度に実施した大規模改修工事で使用箇所等を樹脂系及びビニール系塗料で塗装済みで、結果的に封じ込め工

平成17年国勢調査の結果

10月1日、全国一斉に行われた「国勢調査」結果速報については、本町の総人口は、前回調査（平成12年）より4・4パーセント（269人）減の5、847人となっています。

首都圏ふるさと井川会総会を開催

17回目を迎えた「首都圏ふるさと井川会」の総会が、去る11月19日、東京・新宿区の日本青年館で開催されました。当日は首都圏などから参加した会員や町からの参加者などを合わせた約90人が、キャノコ汁などを味わいながら交流し、親睦を深めて盛会裡に終了しております。

除雪対策について

今冬の除雪対策については、町道延長127キロのうち、幹線連絡道路及び集落内道路88キロを6ブロックに分割し、町内6業者に委託しています。また、歩道の除雪は通勤通学路を中心に12キロを町内2業者に委託済みです。

なお、交通安全を確保するため、急坂道、交差点等の危険箇所については、例年通り融雪剤を散布し対応することになっています。



11月末現在の町税等納付状況報告 井川町納税組合長会議

12月16日、町役場大会議室では井川町納税組合長会議が行なわれました。

開会にあたって、齋藤町長が「個人情報保護法の施行により、個人のプライバシー意識が高まり、納税組合の中からも税額を知られたくないとの声を耳にするようになった。納付書の配布にあたっては個々に封書に入れるなどの具体策を検討している。また地域の高齢化の中で、納税組合組織の必要性がより高まってくるだろう」とあいさつ。

会議では17年度町税等の納付状況や納税組合奨励金の交付について、町税務課より説明が行なわれました。

〔町税等の納付状況〕（平成17年11月末現在）

町民税（個人分）

納付額 6,353万円（8,724万円）

収納率 72・8%

固定資産税

納付額 2億3,406万円

（2億4,441万円）

収納率 95・7%

軽自動車税

納付額 1,083万円（1,120万円）

収納率 96・6%

国民健康保険税

納付額 1億2,387万円

（1億3,446万円）

収納率 92・1%

カッコ内数字は、納めるべき税額。

納税100%にご協力をお願いします。

行政改革に向けて懇談会を発足、委員10人に委嘱状を交付

12月22日、「井川町行政改革懇談会」が発足し、役場会議室において第1回目の懇談会が開かれました。委員は公募委員を含む10人。

この会は先に策定した「井川町自立計画」に基づき、より実効性の高い行政改革を推進するための「行政改革大綱」を策定するもので、平成18年度当初からの実施を目指して策定協議を進めるほか、平成22年度までの5カ年間の「行政改革」の進行管理等にあたります。

「井川町行政改革大綱」の策定にあたっては、限られた行政人員や財源を有効活用して、より効率性の高い行政改革を進めるものでありますが、単に事業費等の削減のみを追求するものではなく、行政サービスの向上を基本の考えとした改革を目指すものです。

改革大綱では、行政職員の意識改革、組織機構の再編、事務事業の見直し、歳入財源の確保、人件費の抑制、住民との協働によるまちづくりの推進等を重点取り組みとして掲げるほか、役場業務全般にわたり見直しを図りながら、住民福祉の向上につなげていく考えです。



井川町行政改革懇談会委員

会長	児玉 隆司	生産組合長
委員	森田 潔	町議会議員
〃	伊藤満洲雄	町内会長会々長
〃	鈴木 京子	婦人団体連絡協議会長
〃	湊 たつ子	社会教育委員
〃	細川 英子	民生児童委員
〃	齋藤 一男	桐ヶ丘療護園施設長
〃	伊藤 高	秋田市交通事業管理者
〃	澤石 傳吉	公募委員
〃	鎌田 憲悦	公募委員

なお、行政改革懇談会の協議状況については、広報等で随時お知らせしていきます。

国勢調査結果をお知らせします

町発足以来初の5千人台に減少、井川町の人口5,847人に

平成17年10月1日基準日として実施された「国勢調査」の速報集計結果が公表されましたのでお知らせします。

井川町の人口は5,847人（男性2,721人・女性3,126人）、世帯数は1,615世帯でした。また前回調査時（H12）と比較すると人口で269人の減に対して、世帯数は21世帯の増との結果になりました。

町の人口は、井川村発足当時（昭和30年）の7,763人をピークとして、減少を続け、今回調査において初めて6千人台を割り込みました。

街のいい顔み~つけた!



公民館だより

花いかだ

TEL(874)4422 有線4443

1月の公民館行事

第42回 全町バスケットボール・3P・フリースロー大会

とき：1月15日(日) AM9:00開会式
 会場：町民体育館
 バスケットボール大会区分(男子の部・女子の部)
 町内会単位
 中学生、職場、町内グループ等
 3P・フリースロー大会区分
 3Pは中学生から19歳まで
 フリースローは20歳以上の人
 参加を希望するチームは1月14日(土)までに所定用紙に記入し、町民体育館へ申し込んでください。

合同厄祓い・還暦祭

とき：2月1日(水) 午後1時30分
 会場：井川町公民館
 対象
 ・33歳 昭和49年1月1日～50年4月1日生の女性
 ・42歳 昭和40年1月1日～41年4月1日生の男性
 ・還暦 昭和21年1月1日～22年4月1日生の男女
 合同厄祓い・還暦祭は実行委員会で開催します。
 問い合わせは井川町公民館へ
 TEL 018(874)4422 有線 4406

第20回 わんぱく雪まつり

～おもいきり雪遊び!～

とき：2月5日(日) AM9:00開始
 会場：赤沢山スキー場
 参加はすべて無料。家族、友だちと誘い合って、赤沢山スキー場で楽しく過ごそう!

主な内容：

- 9:15～ 桜爛太鼓・和太鼓サークル演奏・開会式
- 9:30～ スキー・ボード教室
- 9:30～ 馬そりでGO!
- 9:45～ 雪に絵を描こう!
- 10:40～ 雪上キックベースボール大会
- 10:40～ ねらえ!お宝ボール(先着40名)
- 11:30～ もちつき大会

豚汁、甘酒、おもち、チョコバナナなど無料サービス(なくなり次第打ち切り)も有ります。
 当日、雪不足の場合は、町民体育館で内容を変更して行います。

赤沢山スキー場からのお知らせ

今冬から赤沢山スキー場のリフト利用が無料となります。営業日については平成18年1月2日(月)～15日(日)は毎日営業、1月16日(月)～2月12日(日)は土・日曜日のみの営業となります。
 ナイター営業については積雪の状況により、有線放送でお知らせします。
 たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

冬期間の歴史民俗資料館の利用について

1月・2月は歴史民俗資料館を閉館します。
 ただし、観覧を希望する場合は教育委員会へ連絡していただく開館しますので、遠慮なく申し出てください。
 なお、月曜日・祝日は休館日となります。

公民館冬期講座募集

紙粘土教室 ～オリジナルのアクセサリ等を作ろう。

開催日 1/17・31・2/14・28・3/14(5回コース)
 時間 午前10時から～12時まで
 場所 井川町公民館
 材料代 実費

切り絵教室 ～カッターだけで素敵な作品を作ろう。

開催日 1/26・2/9・23・3/9・23(5回コース)
 時間 午前10時～12時まで
 場所 井川町公民館
 材料代 実費

どちらの教室も定員15名です。

申し込みは1月12日(木)までに町公民館へ。

教室・講座	開催日	備考
いかわキッズ・クラブ	28日(土)	公民館 料理教室)
和太鼓サークル	14日、28日(土)	会場 公民館
英会話教室	11,18,25日(水)	会場 公民館
絵手紙講座	5,19日(木)	会場 公民館
井川高齢大学・大学院	20日(金)	会場 公民館
お茶を楽しむ	24日(火)	会場 公民館

1月の公民館活動



12/3

おいしい“そば”打てたかな？
そばづくり探検隊、そば打ちに挑戦

今年7月下旬に実施された「そばづくり探検隊」で日本国花苑内に蒔かれた“そば”が実をつけて収穫され、このほど参加児童20人による「そば打ち体験」が行なわれました。

井川町生活研究グループ代表の藤田多鶴子さん(田中)の指導でそば打ちにチャレンジした児童たちは、慣れない手つきながらもそばを打ち上げ、その出来に大満足の様子でした。



12/10

“うた”や“おどり”を元気いっぱい！
こどもセンターまつり

この日、こどもセンターでは「こどもセンターまつり」が行なわれました。入園児童たちの歌や踊り、日頃の園での遊びなどを保護者や地域のみなさんに披露しようといわれたこの発表会に多くの来場者が集まりました。

ステージを元気に駆けまわる園児たちの姿に、参観者たちの目もほころび、寒風を飛ばす温かい笑顔が会場をつつみました。



12/21

よいしょ、よいしょ！
こどもセンターでもちつき会

恒例となった「こどもセンターもちつき会」が行なわれ、センターには園児たちの「よいしょ、よいしょ」のかけ声が響きました。

蒸したもち米が臼に上げられると、立ちのぼる湯気にこどもたちから歓声。杵を手にした力自慢たちが、力いっぱいもちをつきあげました。出来たもちを「おいしい」と口いっぱいにはおぼる笑顔がありました。



12/23

今冬の安全運行を祈願
赤沢山スキー場開き

この日『赤沢山スキー場開き』が行なわれ、シーズン期間中の利用者の安全と無事故を祈願しました。運動不足になりがちな冬季間、スキー場へ足を運んでみてはいかがでしょうか。今年からリフトを無料解放。営業時間は有線放送でお知らせしていきます。

赤沢山スキー場 電話(874)2371 有線4200
町民体育館 電話(874)3668 有線4285



井川さくら駅、地域と歩み 10年の節目

平成7年12月1日、天候も祝うかのよう
に青く晴れわたったこの日、町民が待望した
JR新駅「井川さくら駅」が誕生。午前9時
から駅舎で行なわれた開業式には、町の玄関
の誕生を祝う多くの町民が訪れ、ともに喜び
を分かち合いました。

多くの町民の祝福のなかでスタートしたあ
の日から10年。井川さくら駅は地域の住民
にとって通勤通学のための交通機関とするだ
けではなく、町のシンボル施設の一つとして
親しまれてきました。現在もきれいで安全に
利用できる駅として、ボランティア活動を続
けられている方々への感謝の気持ちを忘れず
に、利用していきたいものです。



開業時の「井川さくら駅」
町民の笑顔と期待を乗せて。

12/11

第21回全町オープンバレーボール大会 (井川町民体育館)

町内の部

優勝 街道町内チーム

有志の部

〔男子〕

優勝 チームうっちゃり

(健康づくりの会)

〔女子〕

優勝 エヴィバディパッションチーム

準優勝 井川中バレーボール部

第8回全町ソフトバレーボール大会

レディースの部

優勝 満開チーム

準優勝 吹雪チーム

トリムの部

優勝 チームラ・マン

(健康づくりの会)

準優勝 街道町内チーム

栄光をたたえて



井川小・中学校に県相撲連盟より奨励賞

12月4日、平成17年度秋田県相撲連盟表彰式
が行われ、井川町から2団体3個人に奨励賞が
贈られました。受賞したのは「団体の部」で井川
小相撲スポーツ少年団と井川中相撲部、また「個
人の部」から井川中3年の中道健人さん、井川小
6年の西方航さんと同4年の安田走さんの3人。

井川中相撲部は団体で東北大会優勝。スポ少・
団体も東北学童相撲大会で準優勝するなど、好成
績を収めたことが評価され、このたびの受賞とな
りました。個人3人においても各部門で全県大会
を優勝、東北大会で上位入賞を果たしています。



くらしの 情報

1月

役場の電話番号・メールアドレス

URL <http://www.town.ikawa.akita.jp/>
ホームページに関すること
webmaster@town.ikawa.akita.jp

総務課 soumu@town.ikawa.akita.jp	874-4411
出納室 suitou@town.ikawa.akita.jp	874-4412
情報課 johou@town.ikawa.akita.jp	874-4413
税務課 zeimu@town.ikawa.akita.jp	874-4414
町民課(戸籍)	874-4415
町民課 tyoumin@town.ikawa.akita.jp	874-4416
健康課 kenkou@town.ikawa.akita.jp	874-4417
産業課 sangyou@town.ikawa.akita.jp	874-4418
農業委員会 nougyou@town.ikawa.akita.jp	874-4419
建設課 kensetu@town.ikawa.akita.jp	874-4420
水道課 suidou@town.ikawa.akita.jp	874-4421
公民館 (環境改善センター)	874-4422
歴史民俗資料館	874-4423
教育委員会 kyouiku@town.ikawa.akita.jp	874-4424
議会事務局 gikai@town.ikawa.akita.jp	874-4425

◇役場窓口業務の時間延長◇

毎週火曜・水曜日は午後7時まで
住民票、印かん証明書の発行等の
窓口業務を行っています。

国民年金は20歳から

成人の日、国民年金のことを考えてください

成人の日を迎えられるみなさんへ

日本国内に住所のある20歳以上60歳未満のすべての人は、国民年金に加入し、保険料を納付することになります。

「年金なんてまだ先のこと…」などと思っていないですか。国民年金は老後だけでなく、病气やけがで障害の状態になつた場合でも年金が支給される制度です。しかし、加入の届け出や保険料の納付を忘れると、年金が受け取れなくなってしまうこともあります。将来のためにも、忘れずに国民年金の手続きをしましょう。

国民年金などの知りたいことは社会保険庁のホームページをご利用ください。(<http://www.sia.go.jp/>) 「年金Q&A」や、年金見込額を試算する「年金に関する相談」コーナーをはじめ、健康保険などの医療保険制度に関する情報をお知らせしています。

年金受給者のみなさんへ

源泉徴収票が送付されます

老齢基礎年金や老齢厚生年金などの収入は所得法上の「雑所得」として扱われます。社会保険庁では、これらの年金を受給されている方々へ、1月下旬に「公的年金等源泉徴収票」を送付します。

この「公的年金源泉徴収票」には、平成17年中に支払われた年金額・源泉徴収額・扶養親族等の内訳などが記載されています。

年金以外に所得のある方は、確定申告の際に必要となりますので、大切に保管してください。なお、障害年金や遺族年金は非課税のため源泉徴収の対象となりませんので、源泉徴収票は送付されません。

【国民年金の問い合わせ】

井川町役場 町民課 有線 4431
電話 018(874)4415

農業用免税軽油の交付申請を受け付けします

平成18年に使用する農業用免税軽油の交付申請を受け付けします。農業経営者が農作業用機械に軽油を使用する場合、あらかじめ県から免税証の交付を受け、軽油を購入するときにその免税証を販売店に提出することで軽油引取税(1リットル当り32・1円)が免除されます。

交付申請は秋田地域振興局県税部(秋田地方総合庁舎一階)で随時受け付けします。

すでに購入した軽油や作業を終えた分の免税証は交付できませんので、農作業に使用する軽油を購入する前に申請してください。
申請書類は秋田地方振興局県税課で配布しています。

【免税軽油に関する問い合わせ】

秋田県秋田地域振興局 県税部 課税課
電話 018(860)3341

税務署からのお知らせです

平成17年分確定申告書を受付します

平成17年分確定申告書の受付期間は、次のとおりです。

申告所得税
2月16日(木)～3月15日(水)
贈与税

2月1日(水)～3月15日(水)
消費税(個人事業者)
1月4日(水)～3月31日(金)



建設課からのお知らせ 冬の除雪作業にご協力を！

冬期間の住民生活や道路交通の安全を確保するため、町では町道等を6ブロックに分割し、町内業者に除雪作業を委託しております。除雪の際は細心の注意をはらい作業にあたりますが、次のことについて住民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

交通障害や事故の原因となりますので、宅地内の雪を車道等へ出さないでください
 玄関先から道路へ出る間口の除雪は各家庭でお願いします
 道路等への違法駐車は除雪作業の妨げとなります
 作業中は大変危険ですので、除雪車にはむやみに近づかないでください



冬期間の交通安全のため、除雪作業にみなさんのご理解とご協力をお願いします。

【除雪に関する問い合わせ】

井川町役場建設課 有線 4464
 電話 018(874)4420

ー 公共工事の発注状況 ー

- 大倉小泉線改良舗装工事
 契約額 1,228万5,000円
 契約者 門間工業(有)
- 南台1号線改良舗装工事
 契約額 598万5,000円
 契約者 (有)鈴木建設
- 屋布合2号橋上部工改修工事
 契約額 577万5,000円
 契約者 (株)小林組
- 地方特定道路整備事業
 今戸飯田川線改良工事
 (16年度繰越分・街道地内)
 契約額 1,134万円
 契約者 (株)小林組
- 地方特定道路整備事業
 今戸飯田川線改良工事(2工区)
 契約額 2,604万円
 契約者 (有)鈴木建設
- 新屋敷湖東線改良工事
 契約額 162万7,500円
 契約者 (有)カツタ建設
- 下村谷地中線改良工事(海老沢地内)
 契約額 126万円
 契約者 高勇建設
- 地方特定道路整備事業
 今戸飯田川線改良工事(1工区)
 契約額 1,160万2,500円
 契約者 門間工業(有)
- 辺地対策事業
 八幡赤沢線改良工事(1工区)
 契約額 972万3,000円
 契約者 (有)三嶽建設
- 八幡赤沢線改良工事(2工区)
 契約額 997万5,000円
 契約者 (有)遠藤組

確定申告はポータル・セリオンへ

秋田北税務署の申告センター(確定申告書作成会場)をポータル・セリオンに開設します。税務署には相談会場を設置しておりませんのでご理解をお願いします。

開設期間

1月26日(木)～3月15日(水)

開設時間

午前9時～12時/午後1時～4時
 土・日、祝日は休みですが、2月19日と26日の日曜日に限り、秋田県労働会館(フォーラムアキタ)3階に「秋田南税務署共同の申告センター」を開設し、申告相談・申告收受・用紙配布・納付相談を行ないます。提出期限や納付期限を過ぎますと加算税や延滞税がかかることがありますので、申告および納税は期限内にお願いします。

確定申告は自分で書いてお早めに！

確定申告書等は、確定申告の手引きなどを参考に記載してください。インターネットで確定申告書等が作成できます。国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)の「確定申告書等作成コーナー」からアクセスできます。印刷した申告書は、そのまま使用できますので必要書類と一緒に提出をお願いします。還付申告の方は、2月15日以前でも確定申告書を提出できます。納税は便利で安心な口座振替をご利用ください。

【確定申告に関する問い合わせ】

秋田北税務署 個人課税第一部門
 電話 018(845)1753

「住宅借入金等特別控除説明会」を実施します

対象者

平成17年中に住宅を新築・購入・増改築した方

会場

ポータル・セリオン2階

開催日

2月1日(水)・2月2日(木)

時間

午前10時～11時30分
 午後2時30分～4時

出席を希望される方は秋田北税務署に電話でお申し込みください。

見て！ みて！

井川町役場 ☎018-874-4411

U R L <http://www.town.ikawa.akita.jp/>

E-mail jouhou@town.ikawa.akita.jp

まちづくり県民フォーラム 連携と協働によるまちづくり

「まち」を見つめ直して、私たちが「まち」に対してそれぞれの立場から何を行なえるのかを話し合いながら、住民主体のまちづくりを探ります。

開催日 1月17日(火) 13:30開演

場所 県庁 第二庁舎 大会議室

内容

基調講演「まち育てのススメ」

講師 弘前大学教育学部副学部長

北原 啓司 氏

パネルディスカッション

「行政との連携と協働による

まちづくりを進めるには」

コーディネーター 北原 啓司 氏

パネリスト

五十嵐 忠悦 氏(横手市長)

田口 長治郎 氏(六郷まちづくり㈱)

横山 英生 氏(㈱都市環境研究所)

吉村 アイ 氏(NPO関善賑わい屋敷)

参加申込 1月13日(金)必着。

定員(280人)になり次第、締切ら

せていただきます。

【申込み・問い合わせ】

秋田県建設交通部 建築住宅課

電話 018(860)2566

FAX 018(860)3819

e-mail: kjsigait@mail2.pref.akita.jp

歳末たすけあい募金

ご協力ありがとうございました

昨年12月に行なわれた「歳末たすけあい運動」にたくさんの人たちから温かい善意が寄せられました。義援金の配分は次のとおりです。

【募金総額】 730,025円(170件)

【配分内訳】

要保護世帯 8件 77,000円

寝たきり老人等 25件 125,000円

一人暮らし老人 64件 320,000円

余剰金は運動経費等に充当します

「無料調停相談会」を開催します

日時 1月20日(金) 10:00~15:00

会場 秋田簡易裁判所(秋田市山王)

内容 家庭内の問題や土地・建物・金銭、消費者金融問題、交通事故補償等の相談など

【問い合わせ】

秋田簡易裁判所内 秋田調停協会

電話 018(824)3121

「うつ家族教室」のご案内

日時 1月24日(火) 第1回

場所 秋田地域振興局福祉環境部

(秋田中央保健所)

対象 うつ病およびうつ状態の方の家族

内容 家族同士の話し合いや情報交換、うつに関する学習会

【申込み・問い合わせ】

秋田地域振興局福祉環境部

電話 018(855)5171

「司法書士総合相談センター」を開設

秋田県司法書士会では、法律的なことで日頃から悩んでいる、トラブルのことが頭から離れずモヤモヤした気持ちを抱えている、誰にも相談できない、または相談するところが分からない...、このような方の相談を伺い解決の糸口を見つけるため、定期的な相談会を開催しています。相談の内容は秘密厳守、安心してご相談ください。

なお、面談による相談は事前に電話予約が必要です。

司法書士総合相談センター秋田中央

予約専用電話 018(824)0055

開催日 毎週水曜日(祝日除く)

13:30~16:30

場所 秋田県司法書士会館

(秋田市山王)

【問い合わせ】

秋田県司法書士会

電話 018(824)0187

「お酒と健康のはなし」

年末年始は何かとお酒を飲む機会が増えるもの。適量のアルコールは昔から「百薬の長」とも言われ、気分がさわやかになる、ストレス解消になる、血液中の善玉コレステロールを増加させる働きもあります。

しかし、これらはあくまでも適量の話。お酒の難点は、ついつい飲み過ぎてしまうことではないでしょうか。自らにブレーキをかけながら、適量の範囲内で楽しむことが大切です。

楽しく自分のペースで！

厚生省が取りまとめた「健康日本21」では、個人差はあるものの一般に1日のアルコールの適量は、日本酒で1合、焼酎で0.5合、ビール中びん500ml、ワイン・グラスで2杯程度とされています。

お酒に強い人、弱い人

これはアルコールを肝臓内で分解する能力の個人差からくるものです。

アルコールが体内から消失するまでにかかる時間は、体重60kg、70kgの人が30分以内で飲んだ場合、日本酒1合またはビール中びん1本を分解するまでに約3時間、日本酒3合またはビール3本では約8時間かかり、これ以上では翌朝までアルコールが体内に残った状態になってしまいます。飲み過ぎたなどと思ったら、水分を多めに取る、果物等の糖分やビタミンCを摂取するなどして十分な休養を取るよう心がけてください。また、言うまでもなく飲酒後の車の運転は厳禁です。みんなが明るい新年を迎えられますよう、楽しいお酒とのつきあいを考えてみてください。

1月のカレンダー

- 4日(水) 官公庁仕事始め
" 井川町消防団出初め式
- 8日(日) 柔道スポーツ少年団鏡開き大会
- 15日(日) 全町バスケットボール大会
- 30日(金) 井川町教育懇談会

2月

- 1日(水) 合同厄祓い・還暦祭
- 5日(日) わんぱく雪まつり (赤沢山スキー場)

ぼくたち、むしばなかつたよ

1歳6ヵ月児歯科検診で、むし歯のなかったこどもたちです



ユイカ
高橋唯花ちゃん
(新聞)



リク
小西季空ちゃん
(さくら)



ミオ
齊藤美桜ちゃん
(さくら)



ヒナ
松田陽奈ちゃん
(新屋敷)



レイ
森田玲衣ちゃん
(小今戸)

年末年始 公共施設等の業務

施設名	12月28日	29日	30日	31日	1月1日	2日	3日	4日
役場		×	×	×	×	×	×	
診療所		×	×	×	×	×	×	
定住促進センター				×	×	×	×	
ゆうゆう		×	×	×	×			×
ごみの収集				×	×	×	×	
清掃センター		×	×	×	×	×	×	

老人福祉センター・ゆうゆうの1月2・3日の営業時間は午前10時30分から午後7時まで。バス送迎はありません。5日からは通常どおりの営業時間となります。ごみの収集は12月29・30日は可燃ごみのみ収集します。

保健だより 1月分

健康相談・母子健康手帳交付・わいわい広場

月日	健診名	内容	時間・会場
1月4日 16日	健康相談	健康・栄養・睡眠に関する相談	9:00~17:00 健康センター
	母子健康手帳交付	母子健康手帳・妊婦健康診査受診票交付 保健指導、栄養指導	
毎週月曜日 祝日は除く	わいわい広場	乳幼児・親等が対象。みんなで遊び、情報交換、相談(育児、栄養等)もできます	9:30~11:30 健康センター等

すくすく学級・乳児健診

月日	健診名	対象者	内容	受付時間・会場
1月24日 (火)	すくすく学級	H17年10月生まれ	身体計測、保健指導 離乳食について	9:30~9:45 健康センター
	乳児健診	H17年9月、6月、3月、1月生まれ	身体計測、保健指導 内科診察、栄養指導	

健診の時は、問診票、母子健康手帳、バスタオルをお忘れなく
7ヶ月児は離乳食指導がありますので、1時までに受付を済ませてください

予防接種

月日	区分	対象者	受付時間・会場
1月5日 (木)	麻疹予防接種	H16年10月3日~H17年1月6日生児 および7歳6ヵ月未満で未実施の子	13:30~14:00 井川町診療所
2月2日 (水)	風疹予防接種	H15年1月31日~H17年2月3日生児 および7歳6ヵ月未満で未実施の子	13:30~14:00 井川町診療所

子宮がん・乳がん検診の予約

対象：元号(昭和)の奇数年生まれの方

医療機関	実施日及び受付時間	予約受付先
湖東総合病院で検診を希望する方	月~土 9時~11時(第2・4土曜日を除く) 木~金 9時~11時、13時~14時30分	病院・福祉活動室 電話 875-2100
秋田組合総合病院で検診を希望する方	毎週金曜日 (2月受診希望の方は、1月12日までに要連絡)	町健康センター 電話 874-3300
千葉医院で検診を希望する方(子宮がんのみ)	月~土 9時~11時 月~金 14時~16時	千葉医院 電話 875-5360

食生活改善推進員養成講座

月日	内容	受付時間・会場
1月20日 (金)	・レクダンス ・暮らしの中の保健・環境衛生(講話) ・食生活プランの立て方(講話)	9:00~14:00 農環センター

テレホンカードが当たる

広報クイズ No.173

今月の問題

- 2006年、ことしの干支は何ですか?
- 井川町内にあるスキー場は「山スキー場」、の中を埋めてください。

応募の方法

ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、町内の方は世帯主名を記入してください。たくさんの応募をお待ちしております。

あて先

〒018-1596 井川町北川尻字海老沢樋ノ口78-1
井川町役場情報課 広報係まで

しめきり

1月20日(金)当日消印有効

クイズの正解者の中から抽選で3人にテレホンカードをプレゼント。前回の答えは、(1)「自ら考え行動するまちづくり」(2)3人(3)井川中OGチームでした。

抽選の結果、佐藤順子さん(さくら)、松田悟さん(新屋敷)、外木宏明さん(神奈川県)にテレホンカードをお送りします。

みんなの ひろば



畠山 涼太さん (小今戸)
大相撲に行って1場所
1場所しっかりと相撲
をとりたいです。



西方 航さん (坂本)
大相撲に入って、強い
横綱になりたいです。



湊 亜弓さん (坂本)
卓球の強い選手になっ
て、たくさんの試合で
勝ちたいです。



三浦 千紘さん (街道)
小さい子どもが好きな
ので、保育士になりた
いです。



短歌

井川短歌会詠草

歌友らに学べることに感謝しつつ忘年歌会を楽しみに待つ
新しき年を迎えて思いおり過ぎ去りし日は夢の如くに
来る年も穏しくあれと念じつつ温かきお茶を仏前に供う
久々に孫弾くピアノの「早春賦」わが家に響き年改まる
信仰の心に触れて「禅の友」専心に読みこころ静もる
庭隅の大櫓より落葉舞い掃き清めしがまた落ちて来ぬ
宝くじ買えども当たったことはなくそれにも懲りずまたも買いたり
あれやこれとなつかしき友や疎遠なる親戚に書く五十枚の賀状
中学校建てて栄えし南台茅原となりて木枯しの吹く
畑より採りきて食ぶる大根はわれの食感を満たしてくるる
ほほ染めて席をゆずってくれし人満員電車の女子高校生
谷川のせせらぎの音のみ響きいて師走に入れる山は穏しき
少女吹くフルートの音たどたとオタマジャクシのまま冬窓に消ゆ

児玉千代子 鈴木ヒロ子 遠藤恵美子 伊藤ミヤ子 鈴木 鉱造 渡部 光造 小林 タミ 工藤 美穂 齋藤 眞人 伊藤千代美 伊藤 陽子 小林 喜作 すすきいさむ



タイロの 楽しい英語の 時間です

このコーナーは、毎週水曜日、有線放送の定時放送で放送されます。ひとくち英会話のテキストとしてご利用ください。

Comparisons (comparing 2 things: more ~er
comparing 3 or more things: most, ~est)
比較(2つのものを比べる、3つ以上のものを比べる)

- Taka: Great snow this year, isn't it?
タカ: 今年はすごい雪だね。
- Charles: Yeah, it's excellent. There's much more here than there is back home. And this snow is much softer than the snow in Massachusetts.
チャールズ: うん、すばらしいね。僕の地元よりもこっちの方がたくさん雪があるよ。それにこの雪はマサチューセッツの雪よりもかなりやわらかいよ。
- Miki: Are you a good snowboarder?
ミキ: あなたはスノーボードは得意なの?
- Charles: Well, I ski. I'm OK, but my brother is much better than I. He ski races.
うーん、僕はスキーをするよ。でも僕よりも弟の方がうまいよ。弟はスキーレースをやっているんだ。
- Taka: Miki is better at snowboarding than I.
ミキは僕よりもスノーボードが得意なんだよ。
- Miki: Only because I've been snowboarding much longer than you, Taka!
タカそれはあなたよりも長くスノーボードをやっているっていう理由だけよ。
- Charles: Also, Japan has the cheapest life tickets of anywhere I know.
それに日本は僕が知っているどの場所よりもリフト代が安いんだよ。
- Taka: Really? How much do you pay back home?
本当? 君の地元ではどれくらいなの?
- Charles: Usually about 4,000 yen a day. But the most expensive ski hills are almost 8,000 yen per day. that's in the Rockies though, where the snow is the best.
ふつうは一日約4,000円くらいだよ。でも一番高いスキー場では一日約8,000円くらいだね。それはロッキー山脈だけど、雪はどこよりも素晴らしいよ。

日本国花苑の彫刻たち

~ 17 ~

風景のハーモニー



(ステンレス・石 / 400.0 x 350.0 x 350.0cm)

松 勉
永 直
勉 直

はかなさ、メルヘン、そんな優しい言葉が浮かんでくる。作品を支える石は、削り出されたままで荒々しい。しかし、春の芽吹きのように舞うステンレスの小さな鏡面は、四季それぞれの始まりを告げる小さな命のように華麗である。夏、緑の木々と抜けるように青い空を写し込んだステンレスの輝きを見たが、つい先日、雪の綿帽子をかぶる別の姿を見た。大雪の始まる少し前だったから、これから迎えるクリスマスの夜にふさわしい、今風のツリーのようで心が弾んだ。

仕事柄、作家たちと話をする機会が多い。大概是創ることの苦しみを聞くことになるのだが、一度だけ、「最近描くことが楽しくて仕様ががない」という、嬉しそうな笑顔に出会ったことがある。以前は結構大変な、何が変わったらしい。話を聞いてみると、周りを気にせず、自分が描きたいものを描きたいように描くことができるといったことだということ。その時は、こんな心境を語るのがいかに難しいことかは、歴史の中に数え切れないほど多く刻まれているのに、といぶかしく思ったものである。

松永 勉 / 一九四八年徳島県生まれ。徳島大学教育学部美術科卒。第6回ヘンリームーア大賞展・彫刻の森美術館賞など受賞多数。

雪の一日、松永の作品を見て、ふとこの時の作家の無邪気な顔と同じような松永の笑顔が見えるような気がした。彼が目指したという、自然と調和した空間は、確かに自然を謳う喜びを見せてくれる。理屈抜きその素直さが松永の笑顔を見せてくれたのだらうか。「風景のハーモニー」は、園地の入り口に近い芝生の広場に置かれている。

秋田県立近代美術館副館長 小笠原 光



白川 楓花ちゃん(1歳)



街道町内
母・直 父・幸
子彦 さん

いつも元気いっばいの楓花！
楓花の笑顔にパパもママも、
家族みんないやされます。
あったかくなったら、
お外でいっぱい遊ぼうねっ！

おいしい料理をつくってみよう

おいしい一品

「きな粉もち」

工藤 節子さん(大麦)



井川町産業祭・食品加工の部で、秋田県知事賞を受賞した工藤節子さん(大麦町内)の「きな粉もち」を紹介します。

【作り方】

ゆでた枝豆の殻をむいて水150ccと一緒にミキサーにかける。
ミキサーにかけたものを鍋で加熱し、白玉粉と砂糖を合わせる。
加熱して出来たもちをきな粉を入れたボール等に移し、きな粉の粉がなくなるまで手でこねる。
棒状にのばし、一口大に切る。
約48個程のもちが完成。

【材料】

- ・きな粉 ... 100 g
- ・枝豆 1合
(殻をむいたもの)
- ・水 150cc
- ・砂糖 60 g
- ・白玉粉 70 g



リボンで飾り付けた「きな粉もち」

人口などの動き

(12月1日現在)

- ・人口 男 2,812人 (-38)
 - 女 3,162人 (-24)
 - 計 5,974人 (-62)
 - ・世帯数 1,772戸 (+5)
- () 内は前年同月との比較

慶 弔 だより

(11/21~12/20)

■お誕生おめでとう

- 畠山 遙希 (昭、ともみ)
- 鷺谷 心優 (泰樹、和美)

■ご結婚おめでとう

- ♡ 伊藤 敦也 (今戸)
- 鈴木 純子 (八竜町)
- ♡ 齋藤 仁 (綱木沢)
- 阿部 仁美 (秋田市)
- ♡ 湊 洋二 (坂本)
- 佐藤 真理 (秋田市)
- ♡ 藤原 康幸 (京都市)
- 伊藤 明子 (大野地)
- ♡ 大越 昭洋 (秋田市)
- 齋藤 由樹子 (田中)

■お悔やみ申し上げます。

- 武埜 クニ (99歳・仲台)
- 伊藤 エツ (94歳・今戸)
- 伊藤 末吉 (72歳・仲下村)
- 渡邊 フヨ (89歳・新聞)
- 鳥井 政美 (71歳・さくら)
- 高橋 完一 (76歳・新聞)
- 佐藤 キン (76歳・綱木沢)

善意

■さくら苑へ

- ・大野地町内の古戸千代里さんより、ぞうきん80枚
- ・井川小学校より、学習田で収穫されたお米10kg

■こどもセンターへ

- ・井川町更生保護女性の会より、手づくりぬいぐるみ

■地域福祉基金へ

- ・大台町内の松岡運造さんより、亡父多蔵さんの香典返しとして
- ・仲台町内の武埜真一さんより、亡祖母クニさんの香典返しとして
- ・今戸町内の伊藤秀男さんより、亡母エツさんの香典返しとして
- ・新聞町内の渡邊英雄さんより、亡母フヨさんの香典返しとして

“ありがとうございました”

お願い：“慶弔だより”に氏名等の掲載を希望されない方は、届け出の際に『戸籍窓口』へ申し出ください。



秋田工業高校 バスケットボール部

- 伊藤 真人さん(2年・今戸)
- 伊藤 大地さん(2年・中下村)
- 菅生 俊介さん(2年・井内)
- 門間 光亮さん(2年・井内)
- 鈴木 聖志さん(1年・街道)

秋田県内の高校男子バスケットボール競技には、他校を圧倒して立ち回れる屈強な壁がある。全国を制すると50数回、言わずと知れた能代工は過去数十年にわたり県内高校を相手に公式戦無敗。この強豪を倒さんと闘志を燃やす秋工バスケットボール部に井川バスケの魂が注ぎ込まれている。

「誰かに合わせて秋工を選んだのではない。小・中学と共にプレイしたメンバーでバスケが続けたかった。その思いがみんな同じだった」と話し始めたのは主将をつとめる伊藤真人さん。「打倒能工、その気持ちだけで」と副主将の伊藤大地さんが目に力を込める。

「3年の代で対戦した時は高さが足りないことを痛感した。秋工は身長が180センチと高さだけでは勝てない。しかしスピードには自信がある。あとはシュート力とディフェンス。シュートを外さなければリバウンドで負けることはない。(能工は)決して勝てない相手では無い」と意気に燃える5人。

「練習は自分たちにプレイのヒントしか与えてくれない。そのヒントをどう試合に生かすのか、ここが力の差。そのためにも練習で得るヒントが多い方が強くなる」と大地さん。

また、俊足、ジャンプ力は秋工とメンバーが口を揃える菅生俊介さんは「リバウンド、ルーズボール、速攻、どのプレイでも誰よりも早くボールに近く、つかみ取れる位置にいたい」と信条。「一つのプレイで試合の流れを変えられる選手」を意識して練習するのは門間光亮さん。「3ポイントの精度を高めたい」と早朝練習と全体練習後のシュート練習は欠かさない。

「コートに立てば学年の上下は無い」と話す一年後輩の鈴木聖志さんは、小学生レスリング東北チャンプの経歴を持つ。体格差があってもあたり負けはしないとゴール下の信頼は厚い。

昨年11月に行なわれた高校新人戦、中央地区大会を優勝。今月開催の全県大会への切符を手にして、王者に挑む。

編集雑記



例年になく雪の多い年末年始を迎えました。毎日の雪寄せご苦労さまです。作業事故など無いよう先日の大雪で秋田市街地を走行中「わだち」にはまっすぐ身動きが取れなくなっていました。雪が手にささると現れ、手伝ってくれました。そんな人の優しさに触れ、寒風で冷えた心が温まる。「住みよさ」とは何かを探るため様々な方の意見を伺いましたが、みな言葉に出るのは人との付き合いが基本にあるということ。困ったときこそ人の手の「ありがたみ」がしみるものですね。

施設の利用状況(11月)

()内は累計

環境改善センター	1,786人 (9,864人)
歴史民俗資料館	137人 (344人)
町民体育館	1,261人 (12,482人)
町民武道館	986人 (4,701人)
町営野球場	65人 (4,208人)
スポーツ交流館	976人 (2,295人)
定住促進センター	1,370人 (11,189人)
日本国花苑施設	1,168人 (17,381人)
老人福祉センター	1,470人 (11,732人)
ごみ処理量	90t (777t)
し尿処理量	78kl (637kl)